

「会員短信 43」

「趣味に健康にありがとう」 石塚柚彩

月に一度、お寺の写経会に行っています。昨年、十一月の写経会はちょうど満月でしたが、住職よりこんなお話がありました。「今、満月が欠け始めていますので、何かを始めるといよりは、手放す時期です。自分と向き合って次の目標を設定する準備として、願い事よりは、何かにあると感謝を込めて写経をする方が良い循環が起こりますよ」。

座禅をしながら、何に感謝をしようかと考えました。振り返ってみると、一昨年に退職し、コロナ自粛でどこにも行けぬ中、充実した一年を過ごせていたことに気付きました。そしてそれは、俳句、川柳、書道、茶道と、時間を費やす趣味があったからだと思いました。また、それらの趣味を休まず一年間続けてこられたのは、身体が健康だったからでした。

「趣味に感謝」「健康に感謝」を願文^{がんもん}として、写経後、般若心経を唱えて奉納しました。

フルタイムで働いていた時は、あまりの時間の無さに、いくつか止めてしまおうかと何度か思いましたが、今は止めずに続けてきて良かったと思っています。

俳句も川柳も、何年経っても思ったような作品が出来ず、四苦八苦しながら駄句を出し続けていますが、老化防止と考えてこれからも続けて行きたいと思っています。

熱の児にちょっかい出す姉猫じゃらし
子等帰省論吉どンドン飛んで行く
かかあ天下開き直って生きてます